宮城県災害時小児周産期リエゾン研究会を開催します

1　目的・ねらい

各地域の周産期医療機関が，災害時に備えるため災害時小児周産期リエゾン※の活動を理解するとともに，各立場から意見交換等を行い，地域の実情を踏まえた災害時小児周産期リエゾンの在り方の検討に資するための研究会を開催するものです。

※　災害時小児周産期リエゾン＝自県及び近隣県の被災時に、県の保健医療調整本部等において小児・周産期医療に関する情報を集約し，判断・搬送調整等を行うもの。

2　日時・場所

- 日時：平成31年**3**月**17**日（日）　午後**1**時**30**分から午後3時30分まで
- 場所：宮城県庁 行政庁舎1階　みやぎ広報室

※前回告知から開始時間を変更しています。

アクセス
【徒歩】 仙台駅西口→（約2キロメートル・約20分）→県庁
【バス】「仙台駅前」→（約5分）→「県庁市役所前」下車→（徒歩約3分）→県庁
【地下鉄】「仙台」駅→（約4分）→「勾当台公園」駅（北2番出口，上りエスカレーターのみ配備）→（徒歩約3分）→県庁

※県庁県民第1・第2駐車場は有料かつ駐車台数に限りがありますので，なるべく公共交通機関の御利用をお願いします。

3　対象

県内各周産期母子医療センター等の産科医・小児科医・助産師各1人程度

4　内容（予定）

挨拶：宮城県保健福祉部医療政策課
　　東北大学小児病態学分野教授　呉　繁夫
（1）災害医療の概要及び宮城県の災害医療体制
　宮城県保健福祉部医療政策課技術補佐　野上　慶彦
（2）災害時小児周産期リエゾンの概要
　あいち小児保健医療総合センター救急科医長　伊藤 友弥
（3）災害時小児周産期リエゾン活動の実際と産婦人科災害対応システム
　東北大学東北メディカル・メガバンク機構教授　菅原　準一
（4）質疑応答等

5　連絡先

宮城県保健福祉部医療政策課　地域医療第一班　主事　島津　陽介
TEL：022-211-2622（直通）　FAX：022-211-2694
E-mail: tiikii1@pref.miyagi.lg.jp

平成31年1月　宮城県保健福祉部医療政策課